

会議結果報告

1 会議の名称

令和元年度第2回光市環境審議会

2 開催日時

令和元年10月24日（木）15時00分～16時20分

3 開催場所

市役所本庁3階 第5会議室

4 出席人数

委員14人、事務局6人

5 公開・一部非公開の別

公開

6 会議の議事録（要旨）

（1）開会

（2）会長あいさつ

本日は、2件の報告がある。皆さんからの忌憚のない意見をお願いしたい。

（3）議事

ア 「第2次光市環境基本計画」の取組状況について

事務局より資料に基づき説明

【質疑・意見等】

（委員）

家庭でのLED照明導入の割合について、県内でどのくらいの位置付けであるのか。

（事務局）

LED照明導入への補助については、県内でもあまり例はないと思われるが、県内の普及率については把握していないので、今後、調査のうえ、お示ししたい。

（委員）

家庭での雑がみがかかなりの量となる。回収について、月1回から月2回程度に増やすことはできないか。そうすれば、回収率も上がると思う。

（事務局）

他の分別収集もあることから、現在は月1回ということにしている。今回の御意見を踏まえ、収集体制について見直しができる部分があれば見直していきたいと考

えるが、現状では現在の収集体制がベストと考えている。今後、調査研究していきたい。

(委員)

最近、コーティングした紙があるが、それも雑がみとして扱ってよいのか。リサイクル可能であるのか。

また、リサイクル率は、何に対する割合なのか。

(事務局)

コーティングされたものについては、リサイクルが難しいので可燃ごみとして出させていただきようをお願いしている。ただし、牛乳パックやジュースのパックについては、紙パックとして出している。

リサイクル率については算出方法があり、分母が処理量と資源回収量を合わせたごみの総排出量、分子が再資源化処理により再利用した量と資源回収量として算定している。

イ 光市の環境について

事務局より資料に沿って説明

(委員)

大腸菌の数値が高いことについて、水洗化により、その周辺の川の水系の大腸菌が減少するということになるのか。

(事務局)

大腸菌群数は、自然に由来するものが多くあることから、水洗化したとしても、その数値が改善することは難しいのではないかと考えている。そういった方向からの分析も進めてみたいと考えている。

(委員)

大腸菌群数について、近隣の数値を検討したりしているのか。

(事務局)

近隣の状況については把握していない。光市の一部の河川において数値が高いことについては、川の水量や長さ等によるものではないかと予測はたてているが、近隣の状況も踏まえながら分析を進めていきたい。

(委員)

下水道について、メインの通りだけでなく、もっときめ細かく取り込めるようにしていただけないものか。また、雑排水からくる大腸菌もあるのではないかと思うことから、下水道が無理なら合併浄化槽を進めるとか、メインの通りはなるべく取り込むよう進めるとか、したらよいのではないか。

もっと市民に排水のことについて関心を持ってもらうような取組みも必要なのではないか。

(委員)

下水道の関連で、光市は分流式と合流式は、どのような割合となっているのか。

(事務局)

全て分流式である。

市としては、下水道が繋げる状態の場所はつないでいただくようお願いしている。また、単独浄化槽については、合併浄化槽にさせていただくよう補助制度を設けているところであり、今後もPRに努めてまいりたい。

(委員)

公害苦情処理件数について、大気汚染が多いのが気になっているのだが、基本的に野焼きは禁止ということで理解してよいか。

(事務局)

原則禁止ということで指導している。

(委員)

野焼きは、同じ人がしているのか、それとも、野焼きが散見されている状態なのか。また、対策はどうしているのか。

(事務局)

現場を確認しなければ指導ができないので、連絡が入れば、すぐに現場へ出向くようにしているが、同じ人もいれば新規の人もいる状況。野焼きは、原則禁止であるが、例外があり、それを拡大解釈している人もいることから、苦情が入った段階で近隣の方に迷惑をかけているということになるので、止めていただきたいとお願いしている。しかしながら、減少しないというのが現状である。

ウ その他

事務局より今後の予定について説明

(4) 閉会